



製品機能概要

^{2013年10月9日} 株式会社MetaMoJi

Share Anytime について

■コンセプト 『Think Together』

今まで体験した多くの会議の場で「口頭で喋り、耳で聞く」ことの非効率さは誰もが経験していると思います。 数十人が参加する会議では、参加者全員が発言することは困難ですが、出席者全員の意見を知る事はなんとか できないだろうか? 誰かが一方的に話すのではなく、Share Anytimeが人と人とのコミュニケーションを 新しい方法で支援することにより出席者の頭をフル活用してアイデアを創造していく。

会議の参加者全員が考えたアイデアやそれに対するコメントを、1つのスクリーンでリアルタイムで同時に 見ることができたら、会議はどのように変わるでしょうか? インターネットで繋がった世界中のどこからでも 議論に参加して、すべての参加者に意見を表明しあう機会を提供したら、何が起きるでしょうか?

Share Anytimeを使うことで、今までよりもはるかに密度が高いコミュニケーションを実現できます。 ネットワークさえあれば、離れた場所にいる人達でも議論に参加することが可能になります。 また、時間が経ってから書き込みを再現して閲覧することが可能です。Share Anytimeが実現する、 ドキュメントに基づくマルチユーザーのリアルタイムなコミュニケーションにより、 会議を革新できる――私たちはそう信じています。

●「個」から「多」へ

iPadの登場以来、モバイル端末が急速に普及し、コンピューティング・ネットワーク環境は激変しました。 一人が複数の端末を当たり前に使いこなす時代が、すぐそこまできています。 Share Anytimeでは、これまで「個」を主体に考えていたアプリケーションを「多」に拡げていくことで、 モバイル端末が切り開く新しいアプリケーションの世界を創造していきます。

「多」人数 ・・・・・・・	1人で使うのではなく、数十人規模で同じ画面を共有・同時編集操作
「多」 ユーザー ・・・・・・	キーボードを使いこなす人だけでなく、年配者・子どもなど、IT弱者への拡がり
「多」場所 ・・・・・・・	インターネット上の世界中どこでも複数拠点でリアルタイムに接続
「多」端末/OS ・・・・・	主なモバイルOSに全て対応。1つのOSに縛られることなく利用することが可能。
「多」表現 ・・・・・・・	テキストに加えて、自由な手書き。テンプレートを提供
「多」視点 ・・・・・・・	「タグ」によるダイナミックなフォルダ構成・ファイル管理
「多」 データ形式 ・・・・・	PDF、オフィス文書、Web、写真データ、テキスト等のデータ形式に対応

Share Anytime でできること

「Share Anytime」は、今までにない新しいコミュニケーションツールです。

Share Anytimeを使えば、シェアノート上で会話したり、 アイデアを発言したりすることができます。

複数人でリアルタイムにドキュメントをライティングする、また、 会議やプレゼンテーションでひとつの資料に書き加えながら進める、など 様々なシーンで活用できます。

複数人で共同編集した内容は、 手元のタブレット画面に同時に表示され、 e-mailやチャットにはないリアルタイム感を体感できるアプリです。

Share Anytimeでは、

- ・会議の開催者(オーナー)が、 会議資料(シェアノート)を配布すれば会議が始まります。
- ・会議の参加者は、 配られたシェアノートを「Share Anytime」で開けばいつでも会議に参加できます。



● Share Anytime の「会議参加者」の種類



【司会者】

会議の進行役として、会議進行中のページ切替やスクロール・ズームなどの画面操作を行います。 会議の途中で司会者権限を持つ参加者に司会者を交代することも可能です。



X

【発言者】

発言権のある参加者は、シェアノートに意見やアイデアなど、ペンで自由にかき込めます。 会議中にペンを使って書いたり、写真を追加したりして、シェアノートの編集を行えます。

【閲覧者】 シェアノートを見ることはできますが、発言(編集)することはできません。

● Share Anytime の「会議」の種類

Share Anytimeには、2種類の会議スタイルがあります。



Share Anytime 活用事例

●活用事例1 : ビジネスシーンで活用する

商談などでShare Anytimeを使う場合、2台の端末に見積もり資料を表示し、 話し合いの結果に合わせてリアルタイムに書き換えながら打合せを進めることができます。



●活用事例 2 : グループミーティングで活用する

グループディスカッションなどの場合、参加者全員の端末に資料(シェアノート)を配付すれば ペーパーレスにディスカッションが行えます。資料をリアルタイムに更新しながら会議を進めたり、 その場でシェアノートの中に議事録をメモしたりすることができます。

参加者がそれぞれ離れた場所からTV会議に参加するときに、ホワイトボードのように使うこともできるため、 全員が同じ資料を見ながら、スムーズに会議を進めることができます。



参加者は世界のどこに居ても、シェアノートに同時に書き込むことができます。 グループの状況に応じた使い方ができます。



●活用事例3 : セミナーや授業で活用する

セミナーや学校の授業で使えば、生徒は手元の端末で資料や教材を確認しながら受講することができます。



Share Anytime を使った会議の流れ

Share Anytimeでは、会議のオーナー(開催者)の端末からシェアノート(会議資料)を配布し、 参加者それぞれの端末でシェアノートを受信して会議を始めます。

- 1)会議を開催する(オーナー) オーナーは、シェアノートを作成し、会議の参加者へ配ります。
- 2) 会議に参加する(参加者) 参加者は、配られたシェアノートを「Share Anytime」で開き、会議に参加します。
- 3) 会議を進行する(司会者) 司会者が進行にあわせてシェアノートの表示を進めると、リアルタイムに参加者の端末に反映されます
- 4) 会議で発言する(司会者/参加者) 司会者および発言権のある参加者は、シェアノートに意見やアイデアなどをペンで自由にかき込めます

会議を開催する

会議を開催する人(オーナー)は、シェアノートを作成し、参加者に配布します。

●会議資料を作る

1) 会議資料の作成

【白紙から作る方法】

[ノート一覧] 画面の [新規ノート作成] をタップします。 表示された画面で用紙を選択すると編集画面が表示されます。 ペンを使って自由に書いたり、+ボタンで写真やアイテムを 追加して、会議資料を作成します。



【Note Anytimeや他のアプリから資料を取り込む方法】 手書きノートアプリ「Note Anytime」で作成したノートや、 他アプリ(WordやExcel、PowerPoint、PDFファイル)を読み込んで会議資料にすることもできます。

2)作成した会議資料をシェアノートにする

会議資料を作成したら、シェアバーの [会議を始める] をタップします。

シーンに合わせて「フリー会議」「限定会議」の2種類から選択し、 シェアノートを作成します。





オーナーがシェアノートを作成すると、続けて配布方法を確認する画面が表示されます。 シェアノートの配布方法は3種類あります。



いずれかを選んで、参加者にシェアノートを配布すれば、 会議がスタートします。

※会議の途中で参加者追加する場合 メニューの[シェアノートを配る]をタップします。 配布方法を選択し、参加者へシェアノートを配布すれば参加者が追加されます。

会議に参加する

会議に参加する人は、配布されたシェアノートをShare Anytimeで開くことで会議に参加できます。

例えば、シェアノートがメールで届いた場合、 メーラー上の添付ファイル(atshare形式ファイル)を Share Anytimeで開きます。 アプリが起動し、会議に参加することができます。



※会議から退出するには 画面左上の[ノートー覧画面に戻る]アイコンを タップしてシェアノートを閉じます。



司会者および発言権のある参加者は、シェアノートに意見やアイデアなどをペンで自由に書き込めます。

会議中に資料を追加したいときは、 手書き変換「mazec3」を使って文字を記入したり、 [+]メニューから写真やイメージ、Webページなどを貼り付けてシェアすることもできます。

また、シェアノートに書き込まない発言は、シェアバーの [チャット] を使って発言することもできます。

シェアモードとプライベートモードの違い

会議の参加者全員とシェアする内容はシェアモードに、 個人のメモなど他の参加者とシェアしない内容はプライベートモードに、それぞれ分けて書き込みます。







●下書きしてから発言するには

他の参加者にはシェアされないプライベートモードで下書きしてから、シェアモードにコピーすることもできます。 プライベートモードで書いた下書き上でコンテキストメニューを表示し、[シェアモードに移す]をタップします。





Share Anytimeでは、画面右端の [シェアバー] で操作を行います。

Share Anytime のアドオン商品

Share Anytimeのアプリ内で販売しているアドオン商品をご紹介します。

■シェアサービス(会議の開催権)

Share Anytimeで会議を継続的に開催するには、 会議の開催権(シェアサービス)を追加購入します。

シェアサービスを購入すると、会議のオーナーになり、 シェアノートを作成・配布することができます。

※Share Anytime (有料アプリ)を購入すると、 初回のシェアサービス(1GB/月×1ヶ月)が付属されています。

※Share Anytime Free (無料アプリ)をダウンロードすると、 お試しシェアサー ビス(1GB)をご利用いただけます。 お試しサービスの終了後、引き続き会議を開催する場合は Share Anytime (有料アプリ)をご購入ください。

■手書き変換アドオン『mazec3』

「最高の認識精度」と「誰でも使える操作性」を両立させた 手書き変換の最高峰mazec(マゼック)が『mazec3』として登場!

「Share Anytime」や「Note Anytime」のアプリ上でストレスなく手書き入力を利用いただけます。 タブレットを紙のノートとペンのように自由自在に活用したい方におすすめのアドオンです。

さらに、今回のmazec3から新しくmazec利用権サービスを実施。 mazec利用権とは、『mazec3』を購入したあとデジタルキャビネットで同期すれば、 Note AnytimeやShare Anytime上で同じ手書き変換をご利用いただけるサービスです。 それぞれの環境でスムーズな手書き変換をお使いいただけます。 (同じOSであれば、最大10台まで利用可能)

The second secon		2010/2010/2010	00				
現在編集中のノートカ このシェアノートを使	(シェアノー)	、を作成します。 います。					
会議を始めると、 - 変的コース:1GB/月 (有効期限:2013/11/01 0:00) が有効になります。		会議の種類					
	1/01/0-00)	フリー会議					
	1010.00)	シェアノートを持っている人なら誰でも 加し、発言することができます。					
		✓ 限定会議					
		参加者の設定	>				
		司会者:1名					
		発言者:0名 ペーマ (一) た時-マい	発言者:0名				
		シェアノードを持っている 加できますが、発言は指 れます。オーナーは、司 め設定しておきます。	ら入なら証でも云面に 定された人のみに限定 会者と発言者をあらか				
		バスワード					
		パスワードを設定する					
シェアサービスを調	X I	パスワード					

mazec について

キーボードを前提としたPCに比べ、タッチスクリーンをインターフェースに持つスマートデバイスでは、 人間とコンピュータの間の距離をもっと縮めることができるとMetaMoJiは考えます。 この新しいユーザー・インターフェースを実現するため、MetaMoJiでは、従来のかな漢字変換とは 全く別の発想で、モバイル端末の特性を最大限に生かし、手書き文字からかな漢字変換を行う 新しい手書き変換「mazec」を開発しました。

かな漢字交ぜ書き変換により、多くの人々、多様なシーンでストレスの少ない「日本語入力」を実現した 手書き変換「mazec」。「最高の認識精度」と「誰でも使える操作性」を追求したmazecが、「mazec3」として 更なる進化を遂げました。

アップデートポイント

■使い手の字形に合わせたチューンナップを実現する 「字形学習機能」

手書き文字を認識し、適切な文字コードに変換入力するmazec。 その入り口となる手書き文字認識が、使い手の字形を学習してチューンナップする機能を 初めて備えました。



■より早く、より確実な「交ぜ書き入力」へ

「会ぎ」のような漢字とかなの交ぜ書きを正しく変換するmazec。 特長である漢字入力時の予測候補を大幅に強化するとともに確定時予測機能を追加し、 さらにスピーディで労力の小さい変換入力を実現しています。



■快適なテキスト入力をめざし、使いやすさを強化

mazecボタンからmazec設定を開く機能、テキスト書式バーの搭載など、 Anytimeシリーズでの快適なテキスト入力をめざした機能アップを多数行っています。



字形学習機能 ~ 使い手の字形に合わせたチューンナップ ※日本語版機能

その人の文字を認識するmazecへの進化を実現する「字形学習機能」。 機能は、大きく「手書き学習」と「字形登録」に分かれます。

■手書き学習 (手書き文字の自動学習)

ある手書き文字について先頭に表示される候補以外の認識候補を選択すると、 その手書きと認識結果の組み合わせを自動学習します。 認識候補の選択を続けるうち認識率が良くなり、認識の快適さが向上します。

◆「何」の略字が「付」と認識される例

 ① 候補から「何」を選択 (ポップアップ画面から選択してもよい)
④ 付近付け付加付属
④ グー・「何」の組み合わせが学習される
④ 何も何度何で何か
⑥ 次に似た字形を書くと、 「何」に認識されやすくなる
何 何度何も何で何か

■登録字形の一覧

学習・登録した字形は、一覧画面で確認し、不要な字形を削除することができます。

iPad ᅙ			12:52				8	6 % 🖃
<🖴 🛨	🗔 🎤 🖉	Back	登録字形一覧		Uni	lo Redo	=	RM.
	何度も何度も 千載一遇のチ	^{登録した文字} 前第 ^{自動学習した文字}	1 認 識	字形 ● 女」				
			J INC HIM					

■字形登録(手書き文字の字形登録)

くせ字、略字など候補ポップアップに出ない文字についても認識率を高めるため、字形登録機能を用意しました。

◆候補ポップアップに出ない「摩」の略字を登録する例

①候補ポップアップの候補には入力したい「摩」がない



②登録ボタンをタップ。字形登録することに…

③字形登録画面



④次に似た字形を書くと、「摩」に認識されやすくなる



■ Share Anytime を快適にお使いいただくために以下の環境を推奨します。

iOS 5.0以降が必要。

推奨機種は、

- ・iPad (第4世代)、iPad (第3世代)、iPad 2
- iPad mini

/以上。